

たかぎ議会だより



青風祭ポスター
最優秀賞
熊谷俊祐くん

～天に向かってすくすく育て 173のによつきたち～



審議内容	P2	社会文教常任委員会	P6
総務産業建設常任委員会・広聴委員会	P3	一般質問	P7
予算決算常任委員会	P4・5	この村でがんばってます	P8



分でわかる!

9月定例会 審議内容

令和7年第3回定例会の会期は、9月4日から17日までの14日間

原案 可決 認定 した議案	喬木村行政手続きにおける特定の個人を認識するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について（議案第38号）			
	職員の勤務時間および休暇等に関する・職員の育児休暇に関する条例の一部を改正する条例の制定について（議案第39号・40号）			
	喬木村消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について（議案第41号）			
	令和6年度喬木村一般会計歳入歳出決算の認定について（議案第42号）			
	令和6年度喬木村国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険特別会計歳入歳出の決算の認定について（議案第43・44・45号）			
	令和6年度喬木村水道事業会計・下水道事業会計決算の認定について（議案第46・47号）			
	令和7年度喬木村一般会計補正予算（第2号）（議案第48号）			
	令和7年度喬木村国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険特別会計補正予算（第1号）（議案第49・50・51号）			
令和7年度喬木村水道事業会計補正予算（議案第52号）				
報 告	専決処分報告（斑状歯の治療に対する給付額 561,560円） 斑状歯の治療とは：生後6か月から5歳までにフッ素を過剰に接種したことにより、エナメル質に影響があり斑点ができた歯の治療。水道水の影響で一部地域の方々が認定されその方々の治療費を村の責任で支払う（報告第12号）			
	令和6年度決算に基づく健全化判断比率：実質比率8.4%となっていて、基準比率25%を大きく下回り健全である（報告第13号）			
	令和6年度決算に基づく資金不足比率について；いずれの公営企業会計も資金不足は生じておらず、資金不足比率は該当しない（報告第14号）			
同意 した 議案	喬木村教育委員会の委員任命につき同意を求めることについて（議案第53号） 前任者任期満了に伴う選任のため 氏名：森山 康晴さん（昭和44年6月25日生） 住所：喬木村阿島郭 任期：自 令和7年10月1日 至 令和11年9月30日			
請 願	「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」・「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願書（請願第1号）	6 ページ 参照	採 択 採 択	発 議
	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める請願書（請願第2号）			
発 議	「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書	提出者： 社会文教常任委員長 福澤 真理子	可 決 →	意 見 書 提 出
	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書	提出者： 社会文教常任委員長 福澤 真理子		

令和6年度 決算監査報告

議会選出監査委員 後藤 章人

令和6年度に実施された例月出納検査・定期監査の状況を把握する中で、令和6年度「事務事業評価シート」等事前資料の提出を求め8月18日から21日の4日間、関係帳簿との照合を行い、予算執行状況の適否について大平宏司代表監査委員と審査した。一般会計および3特別会計・上下水道2事業会計すべての内容について適正であることを確認した。

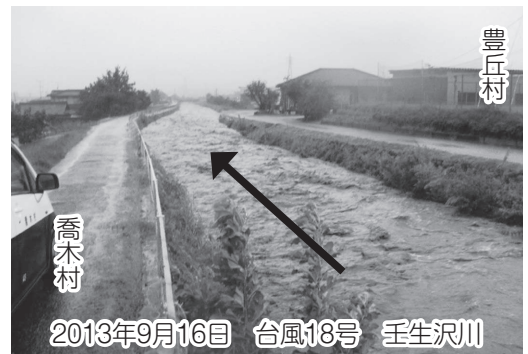
総務産業建設常任委員会

委員長 清水 和文

本定例会において、総務産業建設常任委員会への付託議案はなく、委員会協議会として、「飯田建設事務所への提言」の検討を行い提言項目決定した（最終的に長野県建設部長への要望事項となる）

提言項目 【県道等県管理施設の改良、防災対策等を精力的に推進されている中で、対応が必要な箇所が多く残されていることから、昨年度に引き続き以下4項目を提言する】

- 1、県道上飯田線の阿島橋の架け替え及び小川・下氏乗間のトンネル化等による整備の推進
- 2、主要地方道下条米川飯田線の富田バイパスから国道256号間の拡幅改良整備の推進
- 3、主要地方道下条米川飯田線、一般県道下久堅知久平線交点から弁天橋間の拡幅改良整備の早期完成
- 4、一級河川壬生沢川の河川改修整備の推進



広聴委員会

令和7年度活動実施計画

委員長 小川原 美智穂



▶ 議会モニターとの懇談会

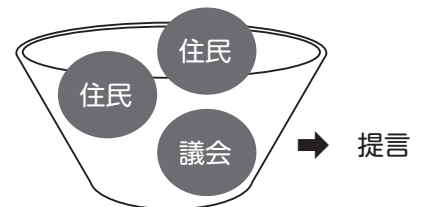
- 令和6年度のモニターとの懇談会で出された課題や意見を提言につなげていけるような懇談会として実施する

- 第2回議会モニターとの懇談会 令和7年9月16日
(懇談会の様子は7ページ)
- 第3回議会モニターとの懇談会 令和7年11月19日を予定
- 第4回議会モニターとの懇談会 令和8年2月を予定

▶ 議会報告会・議会懇談会

- 令和7年度は地区をまわらず、テーマを設け、村内の様々な地区で、自由に意見交換をする中で、要望を取りまとめ、村・県・国などへ提言することを目指し実施する

- 第1回議員と語ろう会！ 令和7年10月2日
テーマ：野生鳥獣被害について
場所：南部防災センター



▶ 各種団体との懇談会

- 令和7年度は、積極的に各種団体との懇談会を行い、懇親を深める中で課題を共有し、共に考えるべく実施する

- 第1回各種団体との懇談会 令和7年10月27日を予定
農業委員会との懇談会



令和6年度決算

全6議案すべて

認定

予算決算常任委員会

9月定例会において本委員会に付託された議案は11件、令和審査6件と令和7年度一般会計、3特別会計及び水道事業会計補委員会として全案件共に認定または可決すべきものとした。



子ども家庭センター

6年度の特徴的な事業

- 喬木村発足150周年記念事業
- 排水ポンプ車購入 ● 喬木まつり
- 中原宅地造成 ● 子ども家庭センター等



排水ポンプ車

主な質疑

村営バス運営経費

- Q 利用者減少と事業の抜本的改革が課題とは。新たな交通手段の検討は。
- A 今年度南信州広域連合が公共交通計画に基づく「交通空白解消パイロットプロジェクト」を実施中。専門家の支援を受け、村・地域の実態に沿った公共交通の再構築を進めており、次回の公共交通会議で結果等が報告される予定。



村民バス

新規就農者育成総合対策

- Q 新規就農者が増えているのは良いこと。経営安定化のため就農者の状況把握は行われているか
- A 国・県の補助金であり、厳しい活動報告が求められる。離農すると補助金の返還が求められる、そうならないよう各方面からフォローし、報告する仕組みがある。
- Q そのような中で、皆さんの経営状況は安定しているか。
- A 令和2年からの就農者は全員が就農を継続しており、大変な思いをしながらも農業を続けている。ベテラン就農者の背中を見て、新規就農者が増えていると感じている。村も若い就農者を応援していきたい。

社会福祉一般経費

- Q 民生児童委員の担い手不足や、高齢化が進んでいます。報酬、旅費の支給等の検討は
- A 民生児童委員は無報酬となっており、村の福祉委員を委嘱し、報酬旅費を支給している。担い手不足の原因としては、高齢になられても働き続ける方の増加。委員活動への理解不足、ボランティアへの意識が低調、区長・自治会長からの依頼でも受けていただけない状況があります。今後、民生児童委員の活動内容をもっと周知し、多くの方が受けていただけるように努めます。

多面的機能・中山間地域等支払交付金事業

- Q 両事業における担い手不足の課題について、村の対策は。
- A 担い手不足により、中山間直接支払事業の集落協定が昨年11地区から今年9地区に減少。草の刈り手がいらない、自分の土地を守るだけで精一杯といった声がある。村としては新規就農者対策、新しい補助金（機械補助、遊休農地抜根対策など）の充実を図り、農村景観維持に取り組む。
- A 制度上は中山間地域以外の人でもメンバーに加えて活動可能だが、地域外の方が本格的に取り組むのは難しい。今後は、会社等を退職された方など、現在の農業従事者が継続できるような制度づくりと、外部からの新規就農者の確保の二つの側面から担い手確保を図る。
- A 各活動団体に運営を任せているが、高齢化は認識しており、各組織内で若返りを図ることを促していく。他組織や他市町村の好事例を紹介するなどの事務局サポートも行うが、最終的には組織内での検討が最も重要であり、その為のサポートを事務局としては行いたい。



水路維持作業

ふるさと納税関係経費

- Q 阿島傘がふるさと納税の基準外になると報道があったが。
- A 今回の基準では、阿島傘は10月1日からは基準外となる。喬木村で生産されているが、材料（骨など）を県外から仕入れているため、村内で生み出される価値が全体の半分を超えないと特産品として認められない。材料費の倍以上の単価で販売されていない現状があり、通常価格以外での販売も指摘を受ける。村としては納得できない部分があるため、国・県に対し、特産品にできないのはおかしいと伝えていく。

道路橋梁新設改良経費

- Q 道整備交付金事業以外で、村独自の道路計画や住民からの要望への取り組み状況は。
- A 住民からの要望として、帰牛原から下段に降りる道路改良、阿島下段地区の南北・東西道路改良、寺ノ前地区の孤立防止などがある。毎年の地区要望ヒアリングで意見を聞きながら、支援や改良を検討していく。現時点では新規の改良計画はないが、地域の意見を聞きながら計画を立てたい。

委員長 福澤 一成

6年度喬木村一般会計、3特別会計、及び2事業会計の決算
正予算審査5件について9月10日、11日と審査を行い、本
(質疑は60件)

水道事業経費

- Q 老朽化した管路の全体的な見直しや配管改修計画の有無は。
- A 令和6年度は本管4件、給水管29件の漏水修繕を実施した。令和8年度に管路更新計画を策定し、令和9年度に設計、令和10年度から工事に入る予定である。

村単農業施設改良事業

- Q 県道上飯田線の小川地籍両側の井水改良事業が進まなかった。今後は農地維持が求められるため、井水改良の調査・見積もり・地元負担額の検討は出来ないか。
- A 調査が必要であり、小川の整備については県に毎年要望を伝えている。村としても現場を確認し、どのような対策が必要か、関係者と協力して検討したい。



県道上飯田線小川地籍

たかぎ保育園・南保育園運営経費

- Q たかぎ保育園で「信州自然型保育（やまほいく）認定」を受け、どのような成果や取り組みがあるか。また、南保育園との特色の違いは。
- A やまほいくは自然保育に重点を置いた認定制度であり、たかぎ保育園は昨年度認定を受け、とろりんこ公園をフィールドとして活用を開始しました。補助金を活用し、不要な木の伐採やフェンス設置など、自然の中で安全に遊べるよう整備を進めています。南保育園は以前に認定を受けて、主に隣接する農地を中心に、自然保育を進めており、それぞれ園の場所地域の特性に応じ、取り組みを行っています。



とろりんこ公園からの眺望

公民館運営経費

- Q 公民館役員担い手不足について、毎年課題とされているが、改善策は。
- A 分館の役員のなり手が少ない地区では、役の兼務や柔軟な役振りをお願いしており、兼務による負担増にはなりません。最低2、3名での柔軟な運用を可能とさせていただいています。
- Q 駅伝大会について、小川渡橋の工事に伴いコース変更が検討されているが、チーム編成には早期のコース発表が必要では。
- A 工事に伴うコース変更を検討中。現在、コースの原案ができており、参加者を増やせるよう7区11kmで設定。小川渡橋周辺の安全面を考慮し、伊久間地区の走行エリアは工事完了まで、代替コースを設定し、関係各所に安全確認を取っている段階です。近々、公表出来るよう進めています。

令和7年度補正予算審査 全5議案すべて

可決

物価高騰対策補助金

- Q 給食費の負担軽減として保育園を除く小中学校の給食費としたのは
- A 既に保育園では、保育料の無償化、副食費の負担軽減を図っている、限られた交付額の中で、より負担の大きな小中学校の負担軽減を図るものとして計上した。

小川渡橋水道管添架工事関係

- Q 小川渡橋の工事中、水管はどういう対応になるか。
- A 今現在、小川渡橋の水管橋は通水していません。有事の場合には、新小川渡橋の水管橋を使用することで対応が可能である。



小川渡橋

喬木村消防団等公務災害補償条例の一部を改正する条例

- Q 地盤の液状化と言う文言が追加されたが、地盤の液状化が想定される地域があるのか。
- A 天竜川の沿岸、加々須川の天竜川合流付近、大島、加々須、氏乗、富田である。平成27年に、県の第3次長野県地震想定で示されている。飯田市のホームページには、県の拡大版として「地震被害想定液状化危険度評価」が載っており、飯田市周辺も確認ができる。
- Q 現在村の防災マップには示されていないが。
- A 液状化自体については表示しないが、個別の表示を検討したい。

令和7年第3回定例会 請願2件の付託審査を行った。

請願者はいずれも 喬木村学校教職員組合 代表 西村 大吾さん 紹介議員 福澤 一成

請願第1号

「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」・「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願書

請願の趣旨 要約

2025年度から小学校の学級定員は35人になったが、中学校を含めさらなる定員の引き下げが望まれる。長野県では2013年度に小・中全学年35人学級が実現。複式学級でも独自に8人としている。義務標準法の裏付けがなく財政的負担が大きい。学級増による教員増を臨時的任用で対応。小学校の専科教員は国基準で配置され、県基準の学級数と連動していない課題もある。

義務教育費国庫負担制度について、2006年に国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられた。国の責任で十分な教員配置のための財源保障をし、全国どこに住んでいても子どもたちが一定水準の教育を受けられるようにすることが憲法上の要請である。

質疑5件 主な質疑

- Q さらなる少人数学級、の「さらなる」の内容は、いかようか。具体的な数字を上げた方が良いのではないか。
- A 先進国の中では日本、韓国は35人。フィンランドなどヨーロッパでは20人未満となっている。文科省も少人数は世界的な基調と認めている。人数をかけることでゴールになってしまうため、具体的に表さない方が良いと考える。

討論 なし
採決 賛成多数
結果 全会一致

請願第2号

「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める請願書

請願の趣旨 要約

今、学校現場では小・中・高を合わせると不登校の子どもは41万人超え。小・中では11年連続で増加。また貧困・いじめ・教職員の未配置など課題が山積している。長時間労働の実態も改善されず、子どもたちのゆたかな学びを保障するための教材研究や準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっている。学習指導要領の改訂は、子どもたちのゆたかな学びの保障や、教職員の「働き方改革」に大きくかかわる。「カリキュラム・オーバーロード」の状態等を改善することが喫緊の課題である。

質疑3件 主な質疑

- Q 標準授業時数の削減を求めるのか。学ぶ内容が減るのではないか。
- A 学ぶべき内容について、荷重になり過ぎているものを精選、子どもたちの豊かな学びが実現できるよう見直しを求めるものと聞いている。

討論 賛成1件

学ぶべき内容が増えており、昔と違い学び方も多様化している。次期学習指導要領の改定に向けて、現場からの要請がある。子どもたちの豊かな学びを保障するため、授業内容を精査、精選していくことは必要と考える。

採決 賛成多数
結果 全会一致

用語解説



Q

請願ってなに？

村・県・国にぼくたちの希望や想いを文章にして議会に願い出ることだよ！

A



Q

付託審査ってなに？

提出された議案を担当委員会で深掘りして、その後議決をする過程のことだよ！

A



Q

カリキュラム・オーバーロードってなに？

学校の教科・学習内容が多すぎて、児童・生徒や先生に負担がかかり過ぎていることだよ。

A





人口減少化時代（社会）の村のあり方について

小川原 美智穂 議員



Q 人口減少化時代を共に生き抜くために、村民に期待することはあるか

A 一つ目は、お住いの地域は自分たちで作り育て守っていくといった意識の醸成に期待したい。組合や自治会などの運営に全ての地域住民が参画するといった意識を持っていただくこと。

二つ目は、地域コミュニティの担い手になっていただくこと。地域の祭事や伝統行事などに積極的に参加することや、子どもたちや高齢者の見守りや子育て支援、高齢者の生活支援などを、地域住民が協力して助け合うような地域づくりに期待したいと思う。

■令和7年度上半期の事業執行の現状について



ヒアリングフレイルの対策について

福澤 真理子 議員



Q 軽度、中等度難聴者の補聴器購入補助は？骨伝導イヤホンの活用と効果は？聞こえの問題について啓発が必要では？

A ①加齢に伴う機能低下に公費の助成は慎重な検討が必要。研究成果に基づく厚労省の施策等を注視しつつ、制度導入について検討を進めたい。

②導入して間もなく、評価し難い。試聴機会を増やす。

③難聴や聞こえに関する正しい知識の普及は重要。今後若い方も含め「聞こえ」に関する学習会を計画していく。



「管理不全農地」の対策について

櫻井 登 議員



Q 「管理不全農地」を適切に管理する条例化について、村の考えはどうか

A 農地法又は農地バンク法により対応のための法律が整備されている。新たな条例の制定については、村の条例として制定することは考えていない。耕作放棄地への対応については、引き続き、国、県、村の様々な施策を組み合わせ、農地の適正な管理と有効活用ができるよう取り組みを進めたい。

■管理不全農地の把握と対策について

■管理不全農地の有効利用施策について



人口減少と耕作放棄地防止のための地域循環型産業について

松島 りえ 議員



Q 農家から直接農産物を購入し、ふるさと納税や直売所など地域内流通に活用する仕組みを喬木村は検討すべきではないか

A 村は主体的に法人設立を考えていないが、地域や民間主導での設立の動きがあれば、その支援については検討をしたい。農村RMOの枠組みも踏まえ、地域の実情や農家のみなさんの意向に配慮し、様々な角度からの検討を行い、遊休農地の解消、農業振興に努めてまいりたい。

■喬木村における備蓄米確保の必要性について

■クマ対策について

第2回モニターとの懇談会のひとこま

テーマは、未来（将来）に視点を置いた懇談会にするよう『人口減少の対策』について「魅力ある村を実現するためには…」～たくさんある課題の中から深掘りしたいテーマを決めるための意見交換～

PRって大事だと思う。深掘りするなら、こう言う前向きなテーマを深掘りしたい。

20年後の具体的なイメージを村としてどう描くのか。20年後を具体的に深掘りしていくのが、人口減少対策に良いと思う。

どんな意見が出たかなあ～

「なぜ、飯田でも豊丘でもなくて喬木だったのか。」など、移住者の方たちの話を聞く。そこにヒントがあると思う。

教育は先進的にやっているが、高校生にも何らかの経済的施策を。

魅力ある村を実現するためには、何があったら良いか？

花の観光も良いが、的を絞ってやって行かないと、持続可能性がないと思う。

「リニアが開通したら、リニアが一番近い村」って必ず言うが、いつ叶うかわからない夢じゃなくて、現実を見て、村民の人たちに近いテーマを決めて欲しい。

▶議会運営等についてのご意見

議会モニターになって、議会を聴きに来るのがこんなに面白くなって聴きに來たいが、議会の予定が終日とは知らず、午前中しか空けてなくて午後聴けなかった。予定に「終日ですよ。」と記載してくれると嬉しい。



消防富田班 県大会出場チーム紹介

令和7年度 喬木村消防団富田班 班長 木下凌輔

令和7年度喬木村消防ポンプ操法大会と飯伊消防技術大会に優勝し、去る7月13日長野県消防ポンプ操法に飯伊代表として出場しました。結果は、県大会4位入賞することができました。今回このような経験をさせていただき、改めて家族や職場そして消防団の仲間達、関係各位の皆様にご感謝いたします。

それでは、私たちのチームを紹介いたします。

昨今、消防団員の負担軽減の取り組みにより操法練習期間の限られる中、昨年の操法大会の反省も生かし、3番員以外は昨年と同じ番員で担いました。あえて班長ではなく操法を一番愛している雅也君を主将に置き、ムードメーカーの松田君・後藤君、この3人が引っ張ってくれました。班長の私と福島君は30歳という年齢のため、ついて行くのに必死でしたが、今思い起こせば楽しいひとときでした。また年齢の壁を越えた仲の良いチームだと思います。3月に高校卒業し新社会人となった後藤君が、新入団員として、私たちの輪に入ってくれたことが一番うれしかった事です。消防団は地域のため活動することが大切ですが、年齢を超えた交流ができることもまた良いものだと感じました。

短い期間での練習とはいえ、それぞれに仕事・家庭を両立させながらの練習はやはり大変だったと思いますが、それ以上に達成感がありました。全番員が部活動での野球経験者のため、やるなら勝ちたい、上に行きたいという気持ちも心の隅にあったのだと思います。

ちなみに、全番員緊張しやすい性格のため、特に県大会での5分間の競技中の記憶はほとんどありません。(笑)



チームメンバー名

指揮者 木下雅也 (27) 主将
 1番員 木下凌輔 (30) 専任班長
 2番員 松田一輝 (23) 班員
 3番員 福島直樹 (30) 機関班長
 補助員 後藤瑞稀 (18) 班員

議会日誌

9月

- 4日 令和7年 第3回定例会開会
全員協議会・議員全員協議会
- 10日 定例会 一般質問
各常任委員会・予算決算常任委員会
- 11日 予算決算常任委員会
- 16日 議会モニター懇談会
- 17日 定例会閉会・議員全員協議会

10月

- 2日 令和7年度 第1回議員と語ろう会
- 10日 全員協議会・議員全員協議会

議会予定

10月

- 27日(月) 農業委員会懇談会
- 31日(金) 飯伊市町村議会議員研修会

11月

- 19日(水) 議会モニター懇談会
- 25日(火) 北部町村議会議員総会
- 27日(木) 令和7年 第4回定例会開会
全員協議会・議員全員協議会

12月

- 4日(木) 各常任委員会
- 6日(土) 定例会 一般質問
- 23日(火) 定例会閉会・議員全員協議会

前号までの
議会だよりは
こちらから



喬木村
ホームページ



ちいき本棚



広報委員会	
委員長	中森 高茂
副委員長	福澤 一成
委員	松島 りえ
委員	櫻井 登
委員	佐藤 文彦

議会モニター懇談会では、テーマに沿った意見が出され、それらを基に次回以降、さらに深掘りするため「PR」と「20年後の喬木村」に絞り込み、村への提言を視野に取り組んだ。
 クマによる人的被害が報道されている。ひとりでキノコ採りに行くことも危うくなった。秋の風物詩は様変わりを余儀なくされる。
 (櫻井登)

猛暑日が続いた夏も終わり、秋の行事も運動会、文化祭、お祭りなど、それぞれ賑わいのイベントが開かれた。

